



株主のみなさまへ

第63期 報告書

平成24年7月1日～平成25年6月30日



TAKAMISAWA
株式会社 高見澤

証券コード：5283



代表取締役社長
高見澤 秀茂

株主のみなさまには平素より格段のご高配を賜り厚く御礼申しあげます。

ここに当社グループ第63期報告書をお届けするにあたりまして、ご挨拶を申し上げます。

当期において当社グループを取り巻く経済環境は、昨年末の政権交代により公共工事は増加の兆しがあるものの、民間需要は依然低迷し厳しい状況が続いております。そんななかにおいて、省エネ関連は比較的需要が旺盛な環境で推移いたしました。

このような情勢のもと、当社グループは、ガソリンスタンドのブランドを「モービル」から「シェル」に切り替えをし、今後の事業拡大に資するとともに、環境に配慮した「太陽光発電事業」を開始するなど積極的な営業活動と徹底的なコスト管理を行い、収

益の拡大に努めてまいりました。

この結果、グループ全体では売上高、経常利益、当期純利益とも前年同期を上回ることができました。

今後も当社グループを取り巻く経営環境は予断を許さない状況が続くものと予想されますが、目標達成に向け全社員一丸となって取り組んでまいりる所存でございます。

なお、期末配当金につきましては、1株につき3円とさせていただきますのでご報告申し上げます。

株主のみなさまにおかれましては、何卒ご理解いただき、今後ともより一層のご支援ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

平成25年9月

当連結会計年度におけるわが国経済は、東日本大震災からの復興需要を背景に緩やかな持ち直しが見られたものの、海外経済の減速に加え、領土問題による日中関係の悪化が重なり厳しい経済環境で推移しておりますが、安倍新政権の経済対策「アベノミクス」により景気に明るい兆しが見え始めました。しかしながら、中国をはじめとする新興国の成長鈍化、欧州債務不安等の問題は引き続き存在し、先行き不透明な状況は残っております。

当社グループが主に事業を展開しております建設業界におきましては、公共工事はやや増加傾向を見せておりますが、民間工事需要は、企業の設備投資が伸びず、低調な状況が続いております。

一方、海外事業を展開している中国経済は、地下鉄建設など都市のインフラ整備や金融緩和と歩調を合わせ、マンション建設が相次ぎ、価格も上昇してきております。当社が生コン製造販売事業を展開している山東省でも同様の動きですが、最近では資金手当てが難しい現場が出ており、販売回収条件とも厳しくなっております。高速鉄道と空港新設工事が行われている烟台市では、セメントや骨材などの原材料不足が顕著で値上がりの影響が出ています。

このような経営環境のなかにおいて、当社グループは、きめ細かな営業活動と一層のコスト削減に取り組み、収益拡大に努めてまいりました。

この結果、当連結会計年度の実績につきましては、売上高489億2千3百万円（前期比6.7%増）、営業利益7億4千9百万円（前期比2.2%減）、経常利益8億1千1百万円（前期比10.6%増）、当期純利益4億5百万円（前期比9.8%増）となりました。

事業別セグメントの業績の状況

【建設関連事業】

国内の建設関連事業では、生コン、コンクリート二次製品の出荷及び建設資材販売は堅調に推移しました。一方、中国市場においては、資金不足現場への販売見合わせと原材料不足の影響で減収となりました。

この結果、建設関連事業の売上高は110億1百万円（前期比6.8%減）となりました。

【電設資材事業】

電設資材事業では、太陽光発電設備やLED照明等創エネ・省エネ関連商材の販売好調で増収となりました。

この結果、電設資材事業の売上高は245億4百万円（前期比13.2%増）となりました。

【カーライフ関連事業】

石油部門では、原油価格が高値で推移したことと、燃料油、油外の商品販売促進を徹底することで増収となりました。オート部門では、車検入庫促進と車輛販売の強化で、前期並みの売上となりました。

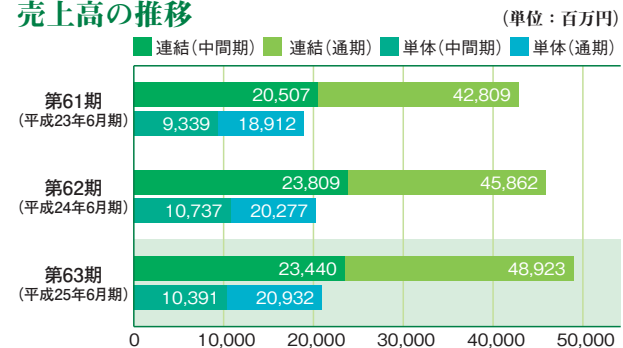
この結果、カーライフ関連事業の売上高は85億4千8百万円（前期比7.3%増）となりました。

【住宅・生活関連事業】

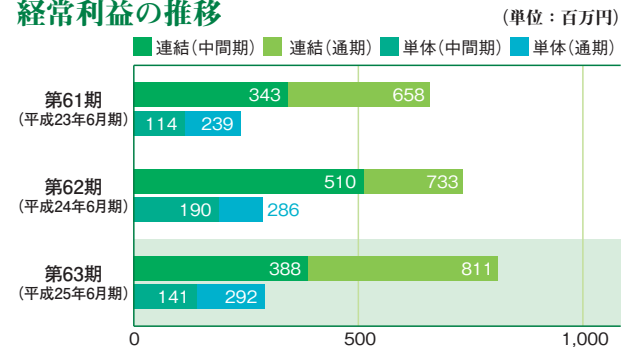
主な事業として、不動産部門では、分譲、建売物件の売買取引が減少し減収となりました。農産物部門では、果実類の取扱量が増加したことと、きのご地域の販売が順調に推移し増収となりました。

新規事業のチーズ加工販売部門では、取引先増加により増収となりました。この結果、住宅・生活関連事業の売上高は48億6千9百万円（前期比9.7%増）となりました。

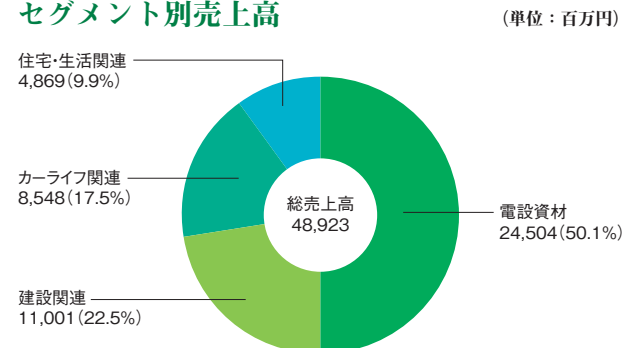
売上高の推移



経常利益の推移



セグメント別売上高



連結財務諸表

連結貸借対照表

(単位：百万円)

科 目	当連結会計年度 (平成25年 6 月30日)	前連結会計年度 (平成24年 6 月30日)
(資産の部)		
流動資産		
現金及び預金	1,434	1,868
受取手形及び売掛金	10,675	8,898
商品及び製品	1,493	1,491
仕掛品	312	164
原材料及び貯蔵品	196	219
繰延税金資産	217	221
その他	596	432
貸倒引当金	△ 90	△ 93
流動資産合計	14,835	13,203
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	2,753	2,730
機械装置及び運搬具	1,284	994
土地	6,252	6,192
リース資産	118	159
建設仮勘定	743	698
その他	247	229
有形固定資産合計	11,399	11,005
無形固定資産	281	198
投資その他の資産		
投資有価証券	355	257
繰延税金資産	50	193
その他	1,720	1,668
貸倒引当金	△ 637	△ 671
投資その他の資産合計	1,489	1,448
固定資産合計	13,169	12,652
資産合計	28,005	25,855

(単位：百万円)

科 目	当連結会計年度 (平成25年 6 月30日)	前連結会計年度 (平成24年 6 月30日)
(負債の部)		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,647	4,814
短期借入金	6,931	6,687
1年内償還予定の社債	50	—
リース債務	60	84
未払法人税等	120	129
賞与引当金	287	215
その他	1,144	1,075
流動負債合計	14,241	13,007
固定負債		
社債	—	50
長期借入金	4,639	4,325
リース債務	73	94
再評価に係る繰延税金負債	452	452
退職給付引当金	1,198	1,191
役員退職慰労引当金	201	176
環境対策引当金	150	156
資産除去債務	60	59
その他	83	90
固定負債合計	6,858	6,597
負債合計	21,099	19,604
(純資産の部)		
株主資本		
資本金	1,264	1,264
利益剰余金	4,870	4,490
自己株式	△ 45	△ 32
株主資本合計	6,089	5,723
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	70	25
土地再評価差額金	50	50
為替換算調整勘定	174	22
その他の包括利益累計額合計	295	98
少数株主持分	521	429
純資産合計	6,906	6,250
負債純資産合計	28,005	25,855

連結損益計算書

(単位：百万円)

科 目	当連結会計年度 (平成24年 7 月 1 日から 平成25年 6 月30日まで)	前連結会計年度 (平成23年 7 月 1 日から 平成24年 6 月30日まで)
売上高	48,923	45,862
売上原価	42,426	39,624
売上総利益	6,497	6,238
販売費及び一般管理費	5,747	5,471
営業利益	749	766
営業外収益	357	284
受取利息	10	10
持分法による投資利益	19	26
為替差益	58	3
仕入割引	137	128
不動産賃貸料	57	58
その他	73	57
営業外費用	295	317
支払利息	224	242
その他	70	75
経常利益	811	733
特別利益	44	22
固定資産売却益	2	20
投資有価証券評価損戻入益	42	—
その他	—	2
特別損失	69	127
固定資産売却損	23	46
固定資産除却損	17	39
投資有価証券評価損	—	9
環境対策引当金繰入額	17	31
減損損失	11	—
その他	0	—
税金等調整前当期純利益	786	629
法人税、住民税及び事業税	207	187
法人税等調整額	142	22
少数株主損益調整前当期純利益	436	419
少数株主利益	31	50
当期純利益	405	369

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

科 目	当連結会計年度 (平成24年 7 月 1 日から 平成25年 6 月30日まで)	前連結会計年度 (平成23年 7 月 1 日から 平成24年 6 月30日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー	117	1,382
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,010	△ 439
財務活動によるキャッシュ・フロー	437	△ 334
現金及び現金同等物に係る換算差額	9	0
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△ 446	608
現金及び現金同等物の期首残高	1,439	831
現金及び現金同等物の期末残高	993	1,439

単体財務諸表

単体貸借対照表

科 目	(単位：百万円)	
	当事業年度 (平成25年 6 月30日)	前事業年度 (平成24年 6 月30日)
(資産の部)		
流動資産		
現金及び預金	552	992
受取手形及び売掛金	3,199	2,435
商品及び製品	832	791
仕掛品	271	131
原材料及び貯蔵品	115	118
繰延税金資産	126	152
その他	663	509
貸倒引当金	△ 10	△ 9
流動資産合計	5,751	5,122
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	1,582	1,653
機械装置及び運搬具	980	672
土地	4,174	4,174
リース資産	73	112
建設仮勘定	741	686
その他	198	192
有形固定資産合計	7,750	7,492
無形固定資産	176	180
投資その他の資産		
繰延税金資産	—	80
その他	2,711	2,462
貸倒引当金	△ 331	△ 336
投資その他の資産合計	2,380	2,206
固定資産合計	10,307	9,879
資産合計	16,058	15,001

科 目	(単位：百万円)	
	当事業年度 (平成25年 6 月30日)	前事業年度 (平成24年 6 月30日)
(負債の部)		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,747	2,260
短期借入金	3,484	3,365
リース債務	45	65
未払法人税等	70	76
賞与引当金	182	161
その他	666	590
流動負債合計	7,196	6,519
固定負債		
長期借入金	4,223	4,021
リース債務	41	63
繰延税金負債	40	—
再評価に係る繰延税金負債	452	452
退職給付引当金	738	740
役員退職慰労引当金	132	119
環境対策引当金	150	156
資産除去債務	46	45
その他	80	78
固定負債合計	5,906	5,679
負債合計	13,102	12,198
(純資産の部)		
株主資本		
資本金	1,264	1,264
利益剰余金	1,638	1,500
自己株式	△ 45	△ 32
株主資本合計	2,857	2,732
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	48	19
土地再評価差額金	50	50
評価・換算差額等合計	98	70
純資産合計	2,955	2,802
負債純資産合計	16,058	15,001

単体損益計算書

科 目	(単位：百万円)	
	当事業年度 (平成24年 7 月 1 日から 平成25年 6 月30日まで)	前事業年度 (平成23年 7 月 1 日から 平成24年 6 月30日まで)
売上高	20,932	20,277
売上原価	17,885	17,230
売上総利益	3,046	3,047
販売費及び一般管理費	2,769	2,703
営業利益	277	344
営業外収益	184	144
受取利息	5	5
受取配当金	30	55
為替差益	55	2
不動産賃貸料	37	36
その他	55	44
営業外費用	169	202
支払利息	155	173
その他	13	28
経常利益	292	286
特別利益	41	20
固定資産売却益	2	20
投資有価証券評価損戻入益	39	—
特別損失	36	86
固定資産売却損	2	46
固定資産除却損	16	1
投資有価証券評価損	—	7
環境対策引当金繰入額	17	31
税引前当期純利益	297	220
法人税、住民税及び事業税	△ 10	△ 15
法人税等調整額	144	42
当期純利益	163	193



株主優待のお知らせ

当社は株主様ご優待として、特産事業部で製造販売しております“なめ苺「志賀の郷」”をお送りさせていただきます。

「志賀の郷」は奥信濃、志賀高原のふもと標高600mの地で生まれました。えのき苺栽培に最も適した豊かな自然と風土のなか、採りたてのえのき苺に厳選された丸大豆醤油で、じっくり煮込み熟成した逸品です。新鮮なえのき苺の歯ごたえと風味をご賞味していただき、ご意見を頂戴できれば幸いです。



対 象 株 主	贈 呈 内 容
平成25年6月30日現在 1,000株以上ご所有の株主様	1名様につき なめ苺「志賀の郷」を贈呈

●●なめ苺グルメ●●

●● あったかなめ苺炊き込みごはん ●●	●● とろーりなめ苺チーズトースト ●●
お米3合をといで、いつもの水加減でセット。 その中になめ苺1瓶とツナ缶を汁ごと（油分がある場合は油切って）入れ、全体を混ぜたらスイッチオン！ 炊き上がったなら、よく混ぜ、ささみのりやゴマをふってさあがり☆	パンにバターやマーガリンを塗って、なめ苺ととろけるチーズをたっぷりのせませう！ 少し焦げ目がつく位焼けば完成☆ お好みで、シラスや万能ネギをトッピングしても♪ チーズは、早く溶けてのびの良いラクティライフの細切リシュレッドチーズ（モザレラ）がオススメ。

お気付きの点またはご注文がございましたら、下記までお問合せください。

お問合せ先
株式会社 高見澤 総務部
Tel (026)228-0111 Fax (026)227-8046

1. メガソーラー発電所稼動

平成25年3月22日に設計出力989kwhの「高見澤リサイクルセンター太陽光発電所」は発電をスタートしました。

発電所の概要

①場所：長野県上田市殿城3726ー1

高見澤環境エンジニアリング事業部敷地内

②発電設備：工場の屋根とストックヤードに国産高性能の京セラ製ソーラーモジュールを4,088枚設置、設計発電量989kwh、年間発電量115万kwh

平成25年7月から、国の再生可能エネルギー固定期間固定価額全量買取制度が実施されるのに伴い、当地が年間を通して好天に恵まれる国内有数のソーラー発電の最適地であることから、環境エンジニアリング事業部の新規事業として、太陽光発電事業に踏み出すことにいたしました。

関連会社の昭和電機産業(株)もソーラー発電プラント設備の販売に注力しており、グループでこの事業を推進しました。発電所稼動以来6ヵ月余り経ちましたが、現在集計できる数字で見ると計画より2割ほど上回る発電をしており、非常に順調です。



高見澤リサイクルセンター太陽光発電所 全景



発電所を建設した時、電気事業法の縛りから20,000㎡の敷地

で取って1Mw以内に抑えましたが、平成25年7月に同法施行規則の改正により原契約の条件のままでも2Mwまで設置可能となりました。現地状況を精査の上、社内で検討した結果、これからパネル2,072枚を増やし、発電能力を更に500kwh拡大する計画を進めています。増設後の発電能力は1.5Mw、年間発電量は173万kwh、一般家庭385世帯分の年間消費電力に相当し、CO₂削減効果は森林面積で換算すれば、東京ドームの30個分の広さになります。

環境エンジニアリング事業部は廃プラスチックのリサイクルとソーラー発電の2本柱で事業を推進し、みなさまとともに循環型社会の実現に取り組んでいきたいと考えております。

2. 8SSが昭和シェル石油へ転籍

平成25年3月よりフルサービスの5SS、セルフの2SSが以前の元売マークから昭和シェル石油のシェルマークに替わり、新たにオープンいたしました。

この転籍により、これまで以上にお客様にメリットを感じていただけるお店に生まれ変わりました。お客様のお好みに応じて様々な給油の方法が選べ、現金でご利用のお客様には「Pontaカード」「ブルーカード」でポイントを付与いたします。クレジット支払いをご希望の方には「シェルスターレックスカード」、店頭価格から更に利用額に応じて値引が受けられる最もメリットのあるカードです。クレジット支払いを便利にするツール、「イージーペイ」は登録・年会費無料で店頭で簡単にお手持ちのカードで登録できます。「イージーペイ」をご利用いただくことで簡単にスピーディーに給油が完了するとともに便利なツールです。

あらゆるお客様のニーズに対応すべく生まれ変わりました高見澤のSSに是非一度お立ち寄りください。

～長野高田SS 認証工場取得！～

平成25年8月1日より長野高田SSが認証工場を取得し、SSの店舗では初めて車検の取扱いを開始いたしました。2級自動車整備士2名を配置し万全の態勢で安心・確実な作業をいたします。また事前点検により費用が明確になりますので必要のない整備はいたしません。

また、早く予約すればするほどお得な予約割引他、各種割引も取り揃えております。お気軽にお問合わせください。車検+コーティングの「コーティング車検」もセットで大変お得な料金で大

好評です。車検時に内も外もリフレッシュはいかがでしょうか。



セルフカーケアステーション豊野SS



3. ミネラルウォーター製造プラント新潟進出



新潟プラント事務所



製造設備



ストックヤード

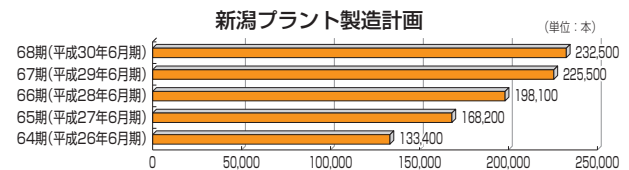
63期の製造本数は、341,000本を超え、月間平均28,000本超の生産体制となり、約10,000軒を超えるエンドユーザーを抱えるに至りました。

高社プラントのみの体制では、エンドユーザーへの共有及び倉庫の限界、更に、危機管理面の脆弱性を考え、長期ビジョンのなかにおいて第2プラント建設の計画をしておりました。

62期より供給を開始しておりました新潟県の出荷も徐々に拡大し、長野県の倍の市場である新潟県では、未だクリクラユーザーは長野県の半分であることから、今後更に、出荷増が見込めると判断のもと、新潟県への第2プラント建設を決定し平成25年8月、新潟市北区に新工場を竣工いたしました。

新潟プラントでは今後、直営展開も含め、今期133,400本の製

造を目標に、5年後の68期には、232,500本の生産を目指します。



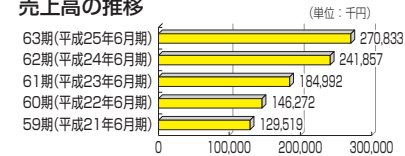
プラント設備は、最新鋭の国産プラントであり、1時間で約150本の生産が可能。また60℃の高温でボトルを洗浄する【リンサ】を搭載しており、今以上に一般細菌を殺菌できます。

宅配水の浸透とともに「クリクラ」ブランドの認知度も更に向上しております。市場拡大に伴い参入企業間の競争は激化しております。

この激しい競争を勝ち抜くために、ボトルウォーター事業部高社プラントでは、HACCP認証工場として、より質の高い商品を提供し、県内全域を網羅したクリクラ高見澤グループのネットワークを整備・拡充し、サービスの向上を図り、売上高は270百万円となりました。

事業・市場ともに成長期であることを踏まえ、64期より新潟県に製造プラントを新設し、生産体制の強化とともに、現地生産により配送コストの削減にもつなげます。

売上高の推移



高社プラント

出荷本数の推移



積み込み風景

会社概要

商号

株式会社高見澤

設立

昭和26年3月29日

資本金

1,264,300,000円

従業員数

320名

事業部、営業所等

37拠点

ホームページのご案内

<http://www.kk-takamisawa.co.jp/>

当社グループのさまざまな情報は
こちらでもご覧いただけます。



役員（平成25年9月26日現在）

代表取締役社長	高見澤 秀 茂	常務取締役	原 山 稔 明	常勤監査役	小 林 栄八州
専務取締役	赤 沼 好 宏	常務取締役	高見澤 尊 昭	社外監査役	武 田 俊 男
専務取締役	高見澤 雅 人	常務取締役	米 山 剛	社外監査役	鎬 澤 裕
常務取締役	佐 藤 倫 正	取締役	小 林 茂 勝		
常務取締役	大 井 文 成	取締役	宮 澤 信 夫		

グループ会社

連結子会社

社 名	資本金
昭和電機産業株式会社	750百万円
直江津臨港生コン株式会社	50百万円
オギワラ精機株式会社	10百万円
株式会社アグリトライ	44百万円
信州電機産業株式会社	40百万円
烟台高見澤混凝土有限公司	230百万円
淄博高見澤混凝土有限公司	3,200万元
烟台市長野建材有限公司	170百万円

関連会社

社 名	資本金
山東建澤混凝土有限公司	3,000万元

株式の状況

発行可能株式総数

18,915,000株

発行済株式の総数

8,792,000株

1単元の株式数

1,000株

株主数

1,266名(前期末比41名増)

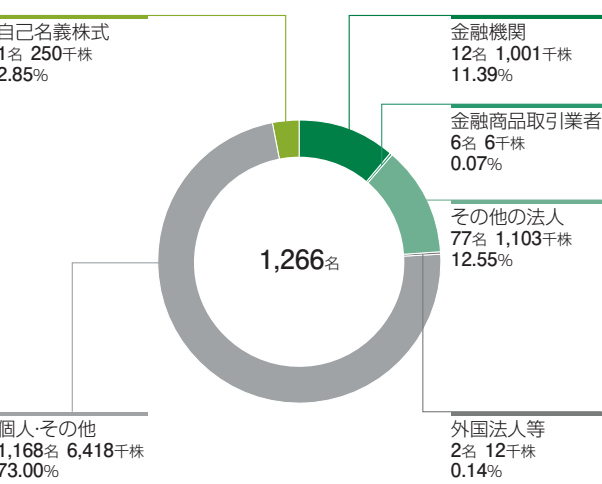
大株主（上位10名）

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
高見澤秀茂	1,147	13.44
高見澤昭二	667	7.82
高見澤愛子	490	5.74
高見澤豊子	447	5.23
株式会社八十二銀行	427	5.00
高見澤雅人	307	3.59
高見澤吉晴	250	2.93
高見澤達郎	193	2.26
日本興亜損害保険株式会社	176	2.06
増田元成	170	1.99

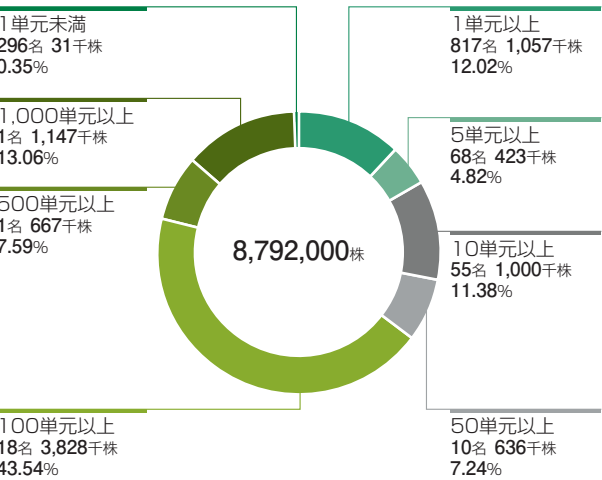
（注）1. 当社は自己株式250,808株を所有しておりますが、上記大株主から除いております。

2. 持株比率は自己株式（250,808株）を控除して計算しております。

所有者別株式分布状況



所有株式数別株式分布状況



株主メモ

事業年度	毎年7月1日から翌年6月30日まで
基準日	毎年6月30日
	そのほか必要ある場合には、あらかじめ公告いたします。
定時株主総会	9月中
期末配当金受領株主確定日	6月30日
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号
特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
連絡先・送付先	〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 三菱UFJ信託銀行株式会社証券代行部 電話 0120-232-7111（通話料無料）
公告方法	電子公告の方法により行います。ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告ができない場合は、日本経済新聞に掲載し公告します。 公告掲載の当社のホームページアドレス http://www.kk-takamisawa.co.jp/koukoku/

（ご注意）

1. 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。
株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
2. 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。